

平成30年第7回全員協議会 要点記録

開閉会日時	平成30年10月22日 月曜日			開会	10:00	会議場所	別海町議会 議場		
	閉会	11:59							
議員の出欠	1 番	小椋 哲也	出席	7 番	今西 和雄	出席	13 番	中村 忠士	出席
	2 番	外山 浩司	出席	8 番	西原 浩	出席	14 番	渡邊 政吉	出席
	3 番	大内 省吾	出席	9 番	沓澤 昌廣	出席	15 番	佐藤 初雄	出席
	4 番	木嶋 悦寛	出席	10 番	小林 敏之	出席	16 番	松原 政勝	出席
	5 番	松壽 孝雄	出席	11 番	瀧川 榮子	出席			
	6 番	森本 一夫	出席	12 番	戸田 憲悦	出席			
出席説明員	副町長	佐藤 次春	教育長	伊藤多加志		総務部長	竹中 仁		
	福祉部長	河嶋田鶴枝	産業振興部長	登藤 和哉		建設水道部長	山岸 英一		
	教育部長	山田 一志	病院事務長	大槻 祐二		農委事務局長	中村 公一		
	総務部次長	今野 健一	福祉部次長	青柳 茂		教育部次長	石川 誠		
	総合政策課長	佐々木栄典	財政課長	寺尾真太郎		税務課長	宮本 栄一		
	防災交通課長	麻郷地 聡	介護支援課長	竹中 利哉		農政課長	小野 武史		
	商工観光課長	伊藤 輝幸	上下水道課長	外石 昭博		農政課主査	寺澤 淳司		
事務局職員	事務局長	浦山 吉人	主幹	松本 博史					
傍聴者数	一般	0名	報道関係者	1名		合計	1名		

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過
議長 松原	10:00 開会 開催概要説明 出席議員16名、欠席議員0名 会期決定1日間
議長 松原	日程第1 副町長挨拶
副町長 佐藤	挨拶 ・産業の動向について ・町内行事の実施状況及びパイロットマラソン中止に係る対応について ・提案案件について
議長 松原	日程第2 議事1 バイガスプラントの現状について
産業振興部長 登藤	内容説明 ・別海バイオガス発電株式会社再建計画（以下「BBP」）の概要について (1)事業採算悪化の主な要因について (2)BBPの再建計画の概要について
議員 13 番 中村	質疑 (1)採算悪化について、原因となる事実が述べられているだけで、分析の結果が説明されていない。 (2)親会社等の支援について説明があったが、現実性は。 (3)新たな施設の増強に係る費用は。 (4)70,000千円の事業効果を見込むとの説明であるが、1億、2億と赤字が出ていることを考えると、赤字が解消されないのではないか。見通しは。 (5)平成30年度の1日当たりの平均発電量をどう試算しているか。
産業振興部長 登藤	(1)原料の想定が甘かった。排世後10日を超える古いものや固形分の多いものが想定より多く持ち込まれた。 (2)支援については合意済みである。 (3)隣接地にラグーンを30,000千円で建設する費用を見込んでいる。

平成30年第7回全員協議会 要点記録

	(4)親会社等からの支援が決定していることから、単年度の黒字化が達成される見込みとなっている。
議員 13 番 中村	(5)25,700kw/日と見込んでいます。
	(3)たい肥仮置場について説明があったが、その費用は説明されていない。総額でいくらなのか。
	(4)当初計画の売上と経費のラインに今後到達していく見込みはあるか。
	(5)当初計画の施設の能力は、平均28,800kw/日、最大ではさらに出力されるとホームページに記載されているが、その数値に到達する見込みは。
副町長 佐藤	(4,5)当初、施設内で一緒にたい肥とスラリーを処理するという施設の売りであった。長わらや石の混入が予測できたが、プラントが技術的に未熟であった。一方、個別の農家の事情もあるので、その受入方針を変えることはできなかった。BBPについては、出資割合に応じて責任があると考えている。今回説明した再建計画は、赤字にならないようにという計画になっている。いわゆる15億円を補てんするための3つの支援策である。町として、あるいは農協としての追加支援の協議もあったが、地元としては難しいと回答している。ただし、企業振興促進条例における固定資産税相当分の補助については、国の補助制度で3年支援されているから、町も2年でなく1年追加し、3年でできないか協議がある。個別の支援は難しいが、条例の範囲内で支援することができるか協議したいと考えている。また、発電量については、当初の目標していた数値に近づいてきているという見通しである。
産業振興部次長 門脇	(3)場外のラグーン、仮置場も含めて、30,000千円の計画となっている。
産業振興部長 登藤	(5)発電量は、当初計画より若干低くなっている。
	(4)4.4億円の売り上げを上げる計画は、現実的には3億円台になる。当初計画に近づけるために、新たな原料を入れていく。また、農家には、原料も吟味すると説明している。
議員 13 番 中村	問題は、安定的な経営ができるかどうか。本当に安定的な経営ができるのか、見通しがつくのか。町民に約束ができるか。
産業振興部長 登藤	利益は少なくなるが、原料購入代の見直しなど、支出を抑えられるから、収支が安定すると信じている。計画どおりに進んでいくか今後も議会に丁寧に説明していきたい。
議員 4 番 木嶋	(1)場内電力の扱いを再検討しないと大きな改善につながっていかないのではないか。
	(2)グリセリンを入れるなどして発酵を促進するような、何かの素材を投入して発酵を改善することは考えていないか。
	(3)資料について、表か何かで示してくれないと説明がわかりにくい。
産業振興部長 登藤	(1)FITの認識が違っていると回答ができない。
	(2)グリセリンは、素晴らしいと考えるが、本施設の原料投入量に見合う多量の資材を調達するのは現実的ではない。
	(3)現時点で確定的なデータがないので、細かい資料はいまは出せない。計画が実施されて詳しいデータが出たらきちんと説明していきたい。
議員 4 番 木嶋	答弁はわかるが、場内電力について検証されていないし、副産物の活用についても引き続き継続して検討してほしい。
産業振興部長 登藤	発酵促進につながる有効な原料の受け入れを考えていきたい。
議員 8 番 西原	(1)再建計画書の原本の資料は提供できないか。
	(2)29年度決算に係る貸借対照表、損益計算書などの資料は提供できないか。

平成30年第7回全員協議会 要点記録

	<p>(3)15年目の譲渡に係る協議はどうなっているか。</p> <p>(4)4,300株の評価額がどうなっているのか。</p> <p>(5)30,000千円を投資するラグーンは、何立米を貯留し、何日分の処理ができるのか。1日の排出量は。</p> <p>(6)建設工事代金の債権放棄とあったが、メーカーの契約上の責任はどうなっているのか。</p>
副町長 佐藤	<p>(1)株主間の機密事項であり提示できない。</p> <p>(2)会社の決算に係る細かい資料は、議会に提示ができない。</p> <p>(4)株について、それぞれどのように評価して整理するかは、出資者の判断による。町は、現在も財産台帳に残している。</p>
産業振興部長 登藤	<p>(3)当初15年目に利益が出ると見込んでいたが、現在までの3年間の実績を踏まえ、当初の見込みどおりに譲渡とはならないという見通しである。</p>
産業振興部次長 門脇	<p>(5)15,000m³の容量を予定している。現在、74,000m³排出されており、半年間の貯留に支障はない。各農家、JA中春別の協力により他にも貯留場所がある。</p>
産業振興部長 登藤	<p>(6)メーカー保証は、親会社が債権放棄することを確認している。今後のメンテナンスについても、グループ内でメンテナンスをしていく中で、部品一つひとつを長持ちさせることなど、グループ内で努力していく方針であることは確認している。</p>
議員 8 番 西原	<p>(1)再建計画に係るメーカーの保障について、株主間で確認がされているか。</p> <p>(2)町や農協は追加の資金投入はしない考えであることはわかったが、メーカーの認識も聞きたい。</p> <p>(3)年間保証は、メーカーで負担するということによりか再確認したい。</p>
副町長 佐藤	<p>(1)株主間の中で意見交換をして、取締役会を経て合意したものである。</p> <p>(2)15年後に買い取るかどうかということは、毎年1億円の黒字を出し、現金を残して、傷んでいるところを直せる状況にして譲渡をするということであった。いま現在、再建計画に向けて取り組んでいる段階であるので、株主間で15年後の協議を正式にはしていないが、話の中では15年後にこのままの状況で予定どおりの譲渡にはならないということになっている。</p>
産業振興部長 登藤	<p>(3)会社間で確認している。</p>
議員 8 番 西原	<p>4,300株で4億3千万円の出資をしているが、15億円の減損損失を出して、その出資金というのはどうなっているのか。</p>
産業振興部長 登藤	<p>現在出資金については、そのままの額となっている。町としては、投資目的で出資しているのではなく、利用農家に対する住民サービスとして出資している。</p>
副町長 佐藤	<p>4億3千万円は、純資産として残っている。どのような財産の位置づけかということであるが、30年の6月時点で1株あたり-35万円の価値となっているが、現金としては存在している。</p>
	<p>休憩 11:11</p> <p>再開 11:18</p>
議員 7 番 今西	<p>議会としても大きな責任がある。ソフトとしての畜産条例、ハードとしてのバイオガスプラントという考えで進めてきた。どうやって解決するのかという議論をもっと深める必要がある。家庭ごみと同じように受益者である農家が原料をしっかり管理していくことも必要。問題もあるが、これまでの取り組みの効果も含めて考える必要があるが、町の考えは。</p>

平成30年第7回全員協議会 要点記録

副町長	佐藤	<p>産廃を当初計画どおりの受け入れとなっていないこと、消化液及び敷料を当初計画より安価に活用していただいているなど、いろいろな要素が絡んで収支が悪化している。畜産条例制定以後、ふん尿による河川流出事故などが起きていない。時間をかけてバイオマス構想、家畜ふん尿の利活用をしっかりと進めていきたい。</p> <p>当初から懸念があった計画であったが、今後はしっかりと検証して、かんがい排水事業や畜産クラスター事業などの大型事業とともに大きな視点から家畜ふん尿対策を見直していきたい。さまざまな観点から検証し、町民の不安を解消してほしい。</p> <p>かんがい排水事業で肥培施設の整備が続いているが、ふん尿及び雑排水についても河川に影響を及ぼさないようにしたい。畜産クラスター事業により多頭化している農家ではバイオマス施設を場内に設置する例もあるが、中小農家にとっては、まだまだ必要なバイオマス施設であり、今後もしっかりふん尿処理に取り組んでいくため、ご理解願いたい。</p> <p>町民の中では、町が投資をまだまだ行うのではないかと心配している声がある。町税をさらに回されるのではないかと懸念の声に対して、町の考えは。株主間協議で新たな投資は難しいという町の考えを説明しているが、さらなる支出などをしないにしても、生ごみや汚泥を投入するなどの支援ができないか考えている。また、固定資産税について、条例に沿って1年延長ができないか企業促進振興委員会の意見を聞いて考えていきたい。現時点では、新たな支出は考えていない。</p> <p>休憩 11:39 再開 11:41</p> <p>日程第3 議事2 議会報告会について</p> <p>内容説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催趣旨について ・実施時期について ・報告会の内容について ・開催方法について ・周知方法について ・班編成及び班構成について ・報告会の次第について ・報告会及び報告会分会の役割分担について ・配布資料等について ・記録及び報告について ・その他 <p>体調不良につき一時中座したい。</p> <p>中座を許可する。</p> <p>質疑なし</p> <p>日程第4 議事3 その他の連絡事項について</p> <p>内容説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の予定について ・議会報告会について ・北海道胆振東部地震の被害状況について <p>質疑</p>
議員	14 番 渡邊	
副町長	佐藤	
議員	6 番 森本	
副町長	佐藤	
議長	松原	
広報・広聴常任委員長	今西	
議員	8 番 西原	
議長	松原	
議長	松原	
事務局長	浦山	
議長	松原	

平成30年第7回全員協議会 要点記録

議員	7 番 今西	地震の被害状況について、限定されたデータに見えるが、町施設以外の被害状況のデータもほしい。 振興局の提出要領に基づいて作成されている資料となっている。
事務局長	浦山	
議長	松原	
議長	松原	全体質疑 なし
議長	松原	11:59 閉会